

かけられている、と言えるのではないだろうか。顧贖の劇評に言う「観衆の笑い声、それは苦笑いである」とは、狗兎爺という形象のなかに、みずからの「被害者」の姿とともに、「加担者」の姿を見出した観衆の笑いなのではあるまいか。

当代文学研究会例会活動の記録

【1984.12—1987.9】

作品合評 計15回、対象作品48編。

陸文夫…小巷深处 牌坊的故事 介紹 唐巧娣 特別法廷
小販世家 圈套 榮譽／張抗抗…夏／ 謀 容…贊歌／ 茹 志鵬
…兒女情／張 潔 …愛、是不能忘記的 他有甚么病／戴厚英…高的
是絨絨、矮的是芝麻／王安憶…雨、沙沙沙／鄭万隆…有人敲門 奇
跡發生在那天夜里／烏熱爾圖…七岔犄角的公鹿／宋學武…干草／陳
沖…小廠來了個大學生／邵振國…麥客／白雪林…藍幽幽的峽谷／金
河…打魚的和釣魚的／梁曉聲…父親／陳世旭…驚濤／李國文…危樓
紀事／鉄 凝…六月的話題 麥積塬 /蘇叔陽…生死之間／何立
偉…白色鳥／張 平…姐姐／張辛欣…北京人（一部）／張賢亮…男
人的一半是女人／從維熙…鳳淚眼／張承志…輝煌的波馬／何力力…
落日的夏威夷／三 毛…搭車客／周大新…漢家女／張振剛…臭鎮悲
老／周曉紅…零點以後的浪漫史／陳映真…山路／馮驥才… 阿！
船歌 感謝生活 愛之上 神鞭 三寸金蓮／郎 郎…老清
的故事

個人研究発表……中本百合枝 「石評梅研究」

その他……………編集打ち合わせ、例会計画ほか。
